

てんじ
展示のご案内



きかくてん
企画展 「虫の名前～モドキってなあに?～」

- 期 間：6月6日(土)～6月21日(日)
- 会 場：こんちゅう館 がくしゅう室
- 内 容：カマキリモドキ、ゲンゴロウモドキ、ナナフシモドキなど、「モドキ」とつく名前の昆虫が大集合！昆虫の名前について深掘りして展示します。

せいちゅうてんじ
ヒョウモンモドキ成虫展示

- 期 間：6月6日(土)～6月21日(日)
- 会 場：こんちゅう館 がくしゅう室前(屋外)
- 内 容：広島県以外では姿を消してしまったチョウーヒョウモンモドキ。種の保全のために当館で飼育している成虫を、期間限定で展示します。

きかくてん
企画展 「カブト・クワガタ 2026」

- 期 間：7月11日(土)～8月23日(日)
- 会 場：こんちゅう館 こんちゅうホール
- 内 容：今年も日本、そして世界のカブト・クワガタがこんちゅう館に大集合！カブト・クワガタの奥深い世界を皆様にご紹介します。

こんちゅう館ウラ話 「カノウモビッキリミトキハニドビッキリササキリモドキ」との出会い



普段は公開していないこんちゅう館の標本室には、様々な昆虫の標本が収蔵されています。ある時、標本を整理していると、スオウササキリモドキという小さなキリギリスの仲間の標本を見つけました。「カノウモビッキリミトキハニドビッキリササキリモドキ」の別名をもつこの昆虫は、中国地方の高い山に生息し、夜に活動しています。標本室での出会い以降、生きた姿を拝みたいと思った私は夜な夜な山へ通うようになり、なんとか発見することができました。(久我)

こんちゅう館 News

- 目次
- ・表紙：企画展のスター ヒラタクワガタ
 - ・2ページ：「モドキ」と名の付く虫
 - ・3ページ：ナナフシの飼育
 - ・4ページ：企画展紹介・こんちゅう館ウラ話

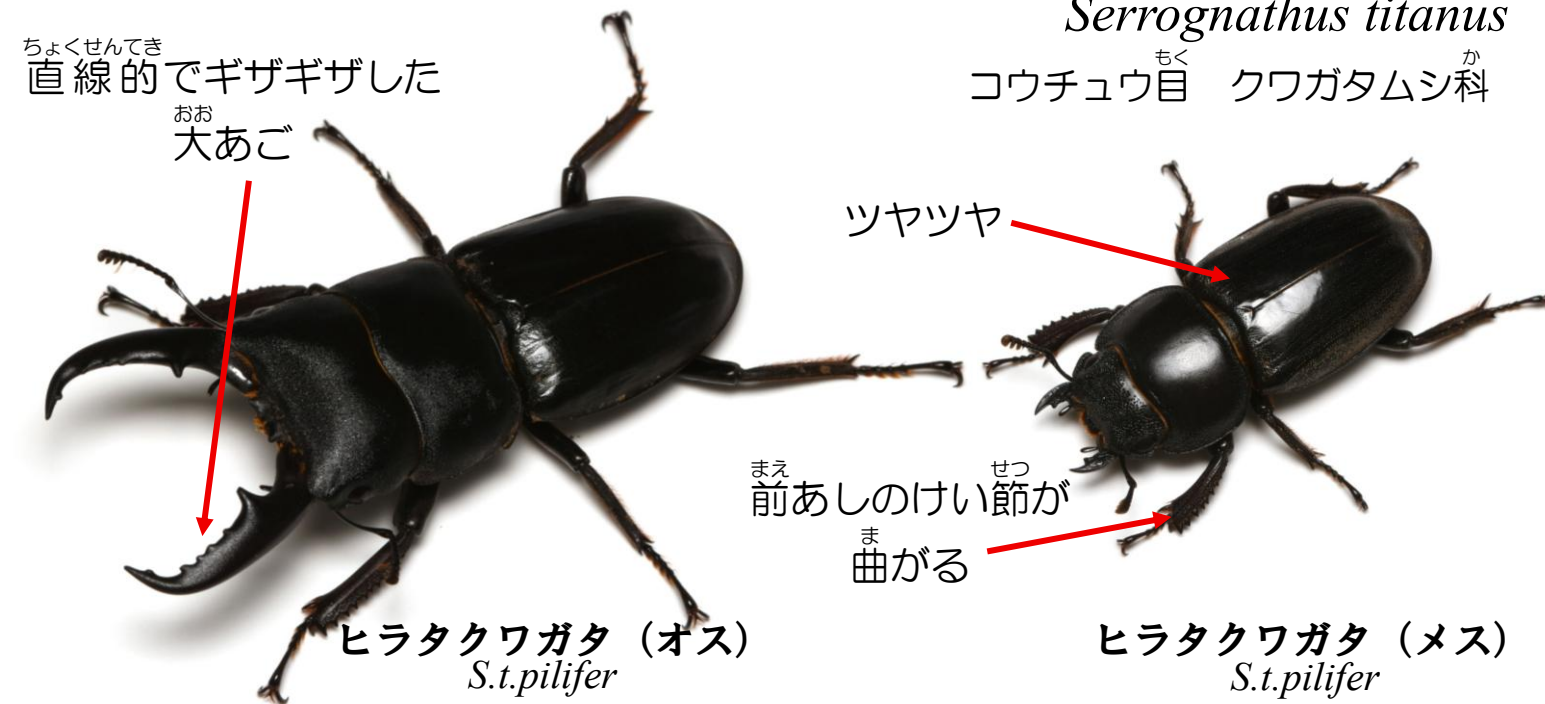
きかくてん
企画展のスター

これぜ～んぶ

ヒラタクワガタ

Serrognathus titanus

コウチュウ目 クワガタムシ科



ヒラタクワガタ (オス)
S.t.pilifer

【分布：本州、四国、九州】

ヒラタクワガタ (メス)
S.t.pilifer

【分布：本州、四国、九州】

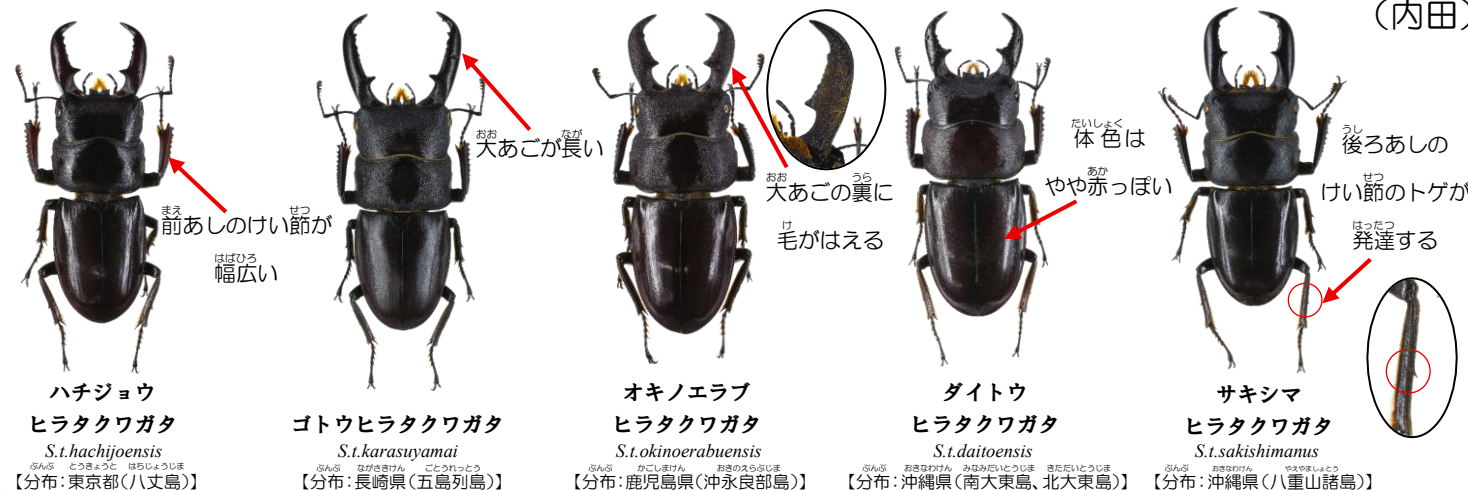
日中は、木のすき間に隠れています。



夜になると、樹液に集まる姿がよく見られます。



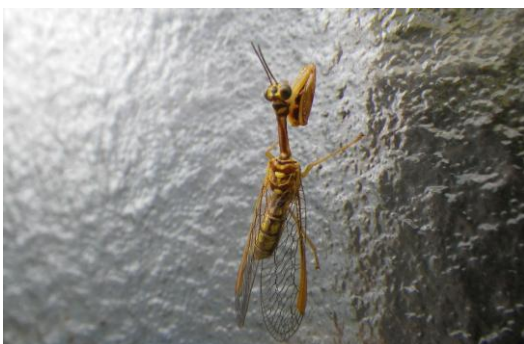
日本には12の亜種が知られており、大あごの形や体型などが異なります。(内田)



イベント情報
はこちらから

こんちゅう館^{かん}フォトギャラリー ～「モドキ」^なと名の付く^つ虫^{むし}～

昆虫^{こんちゅう}には「～モドキ」、つまり「～に似ているけれどちがう」という意味の名前^{い み なま え}を持つ種^もが多くいます。今回^{こんかい}紹介^{しょうかい}するのは、そのほんの一部^{いちぶ}。元^{もと}になった種類^{しゅるい}と、どこが違^{ちが}うかくらべてみよう。(松尾)

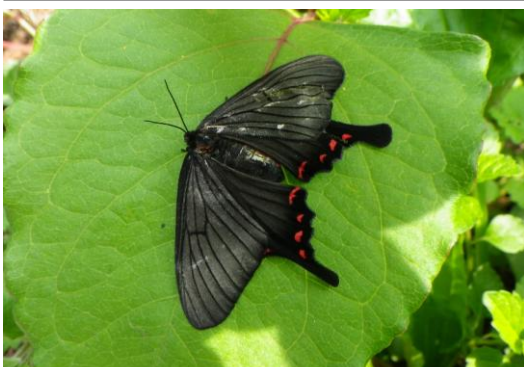


ヒメカマキリモドキ
アミメカゲロウ目^め カマキリモドキ科^か



ハラビロカマキリ
カマキリ目^め カマキリ科^か

頭^{あたま}と前あし^{まえあし}（かま）が似^にていますが、お互い^{たが}遠い仲間^{とおい なかま}です。
カマキリモドキという名前^{なまえ}ですが、体^{からだ}の色^{いろ}や翅^{はね}の感じ^{かんじ}は、むしろハチに似^にている？



アゲハモドキ
チョウ目^め アゲハモドキカ科^か



ジャコウアゲハ
チョウ目^め アゲハチョウ科^か

アゲハモドキは「ガ」、ジャコウアゲハは「チョウ」です。
科^かの名前^{なまえ}まで「モドキ」なのが徹底^{てっぺい}？しています。
写真^{しゃしん}で見^みるとそっくりですが、実物^{じぶつ}を見^みると…。



クルマバッタモドキ
バッタ目^め バッタ科^か



クルマバッタ
バッタ目^め バッタ科^か

共にバッタ科^かの仲間^{なかつま}です。
住宅街^{じゅうたくがい}近くの公園^{こうえん}などではクルマバッタモドキのほう^{ほう}がよく見^みられます。
顔^{かお}の模様^{もよう}が違^{ちが}います。



ゲンゴロウモドキ
ゲンゴロウ目^め ゲンゴロウ科^か



ゲンゴロウ
ゲンゴロウ目^め ゲンゴロウ科^か

共にゲンゴロウ科^か
Dytiscidae の仲間^{なかつま}です。
ゲンゴロウモドキの学名^{がくめい}は *Dytiscus dauricus*。
ゲンゴロウの学名^{がくめい}は *Cybister chinensis* なので分類学^{ぶんるいがく}では、ゲンゴロウモドキが「本家^{ほんけ}」？

虫^{むし}の飼^かい方^{かた} ナナフシ

こんちゅう館^{かん}では外国産^{がいこくさん}2種類^{しゅるい}、国産^{こくさん}5種類^{しゅるい}のナナフシ^{しゅう}を飼育^{しいう}しています。今回^{こんかい}はこんちゅう館^{かん}でのナナフシの一般的^{いっぱんてき}な飼^かい方^{かた}をご紹^{しょう}介^{かい}します。(逸見)

こんちゅう館^{かん}のナナフシ^{しゅう}たち



外国産^{がいこくさん}ナナフシ類^{るい}は、植^{しょく}物^{ぶつ}防疫法^{ふえいほう}により輸入^{ゆふ}が禁止^{きんし}されています。こんちゅう館^{かん}では、特別^{とくべつ}に農林水産大臣^{のうりんすいさんだいじん}の許可^{きょか}を得^えて輸入^{ゆふ}・飼育^{しいう}を行^{おこ}なっています。

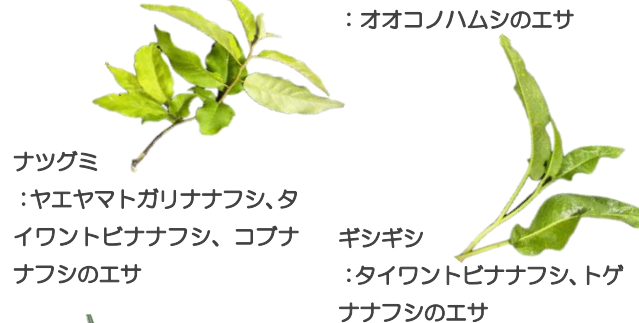
エサ

ナナフシは植^{しょく}物^{ぶつ}の葉^はを食べ^たます。様々^{さまざま}な植^{しょく}物^{ぶつ}を食べ^たる種^{しゅ}もあれば、特定^{とくてい}の植^{しょく}物^{ぶつ}しか食べ^たない種^{しゅ}もいます。こんちゅう館^{かん}では、園内^{えんない}で入手^{にゅうしゅ}できる植^{しょく}物^{ぶつ}を主^{おも}に利用^{りよう}しています。



セイヨウカナメモチ（レッドロビン）：ユウレイヒレアシナナフシ、ヤエヤマトガリナナフシのエサ

アラカシ、コナラなどのブナ科（ドングリのなる木）：オオコノハムシのエサ



ナツグミ：ヤエヤマトガリナナフシ、タイワントビナナフシ、コブナナフシのエサ

ギシギシ：タイワントビナナフシ、トゲナナフシのエサ



アダン：ツダナナフシのエサ

ヤマモモ：ツダナナフシ以外の各種^{いがい}のエサ
食^くいつきは悪^{わる}いが、ほぼ全種^{ぜんしゅ}に使^{つか}える万能^{ばんのう}餌^え

飼^{しいう}育^{いく}方法^{ほうほう}

ナナフシの飼育^{しいう}では、ぶら下^さがって脱皮^{だっぴ}できるよう、あしをまっすぐ伸ばした長さ^{ながさ}の2倍^{ばい}以上の高さ^{たかさ}が必要^{ひつよう}です。虫かごを利用^{むし}する場合^{りよう}、縦^{たて}に置くことで高さ^{たかさ}を確保^{かくほ}します。



エサは常に新鮮^{しんせん}な状態^{じょうたい}を保^{たも}てるよう、ピンに水差^{みずさ}しにして与^{あた}え、食痕^{しょくこん}が目^めだってきたら交換^{こうかん}します。

よく水^{みず}を飲^のむので、朝^{あさ}と夕方^{ゆがた}、霧吹^{きりふ}きで水^{みず}を与^{あた}えます。掃除^{そうじ}する時には、糞^{ふん}に卵^{たまご}が紛^{まぎ}れているので注意^{ちゅうい}！

繁殖^{はんしよく}・累代^{るいだい}

ほとんどのナナフシは雌雄^{しゆう}を一^{いっ}緒^{しょ}に飼^{しいう}っていると、容易^{ようい}に増^ふやすことができます。また、トゲナナフシやツダナナフシなどは雌^{めす}だけで卵^{たまご}を産^うむ単^{たん}為^い生^{せい}殖^{じよく}を行^{おこ}ないます。それらの種類^{しゅるい}は、一頭^{いっとう}から増^ふやすことができます。



ヤエヤマトガリナナフシ

コブナナフシ

ツダナナフシ

卵^{たまご}は湿^{しめ}らせた砂^{すな}や水苔^{みずけ}の上^{うへ}で管理^{かんり}し、幼虫^{ようちゅう}が孵化^{かいふ}したら回^{かえ}収^{しゅう}する。